2018年(平成30年)10月15日発行

すぎのこだより

第６８号

目　　次

②･③　【利用者ルーム】
　　特　集(各事業所のお祭り・新利用者紹介)
④　【特　集】　　～防　災～
⑤　【本部ルーム】【守る会ルーム】
⑥　【作品紹介】　【職員ルーム】
⑦　【事業報告】　【ボランティアルーム】
⑧　【お知らせ】

【社会福祉法人すぎのこ会】

法人ホームページ
http://suginokokai.or.jp
(スマホ版)
http://suginokokai.or.jp/sp

発行：社会福祉法人 すぎのこ会　〒329-4301　栃木県栃木市岩舟町鷲巣302番地１　☎：0282-55-6849

利用者ルーム

各事業所のお祭り特集です

愛晃の杜(夏のお楽しみ会)

あすなろ(あすなろフェスタ)

あすひ(夏フェスinあすひ)

けやきの家(秋祭り)

すぎのこ(すぎのこ祭り)

ひまわり(ひまわり祭り)

ひのきの杜・ひのきの杜共生（夏祭り）

すぎのこ会
『地域交流秋祭り』

日時：10月20日（土）
10:00～15:00

場所：ひのきの杜

皆さん遊びに来て下さい!!

みすぎの郷芋煮会

日時：10月25日
9:30～13:00
場所：みすぎの郷

みすぎの郷(納涼祭)

もくせいの里(夏祭り)

みずほの家
(いすゞ納涼祭･子育てサロン)

やまと(親子夕涼み会)

利用者さん紹介

平間宙夢さん

宇賀神未来さん

福田優希さん

学校時代から実習を体験して、けやきの家の雰囲気に慣れてきました。卒業して4月から、生活介護を利用され、元気に日中活動を行っています。よろしくお願いいたします。

星　岳大さん

菊池亜希さん

3月から愛晃の杜に新しく仲間入りしました。星さんは、最近、計算ドリルにはまり、アルミ缶作業や環境整備などに取り組んでいます。菊池さんは、リネン作業を頑張っています。

防 災 !!

BCM委員会

すぎのこ会が事業展開している栃木市・日光市エリアにおいて、最も高いとされる被災想定は地震や風水害と考えられます。またそれに伴うライフラインの断絶により、生活に影響が出ることは、東日本大震災等の経験からも想像することができます。ＢＣＭの軸となるのは、①法人内連携にて事業継続・再建させる体制作り、②事業所が地域避難拠点となり、地域の方と互いに助け合うしくみ作りの２つになります。法人の基盤強化や地域とのつながりを大切にしていくために、委員会や研修会等を通して、ＢＣＭ体制の構築を目指していきたいと思います。　　防災・ＢＣＭ委員会委員長　軽部愼吾

もくせいの里では、避難訓練を毎月職員・利用者全員参加で実施しています。消防署協力の下に行う事で、職員一人ひとりが環境や時

間帯に合わせ柔軟な行動を取ることができ、職員間の連携や役割分担も迅速に行う事ができます。また、利用者も一連の流れを繰返し行うことで緊急時の不安を和らげ訓練に近い動きが出来るように行っています。

ひのきの杜･ひのきの杜共生では、防災の日として９月１９日防災・防犯への備えや意識を高めるきっかけづくりとして開催しました。昨年は地震体験、今年は煙を体験しました。利用者・職員共に、視界を遮る煙をかきわけながら避難することの難しさを知りました。午後は防犯講習を行い、さすまたなどの武器を使いながら、不審者への対応方法を学びました。

すぎのこの消防訓練は駐車場で点呼後、第１避難所である鷲巣公民館まで歩き､再度点呼をとって戻ってきます。避難所までのルートを覚えておくことで、いざというときも利用者も混乱少なく動けるように備えています。

けやきの家では、９月２５日に消防署に来ていただき総合防災訓練を実施しました。利用者をを上手く誘導していたとの言葉が(^^♪。また､消火器の使用方法も伝授されました！

みずほの家では、年に２回の総合避難訓練の際、消防署指導の下で消火訓練を行っています。実際に説明をしていただいた通りの動きをするのは訓練でも難しいので、もし万が一の事態になった時のために全職員が真剣に取り組んでいます。

みすぎの郷では毎月１回消防訓練を実施しています。また、年に２回施設内職員が少人数の夜間帯（１９時出火）を想定した訓練を行っています。併せて、出火を確認出来ているか緊急連絡網の訓練を行っています。

愛晃の杜では月に１回､防災訓練を行っています。非常ベルが鳴ると､アナウンス従って火元のない方向から外に向かい点呼を行います。ベルの音でパニックになりがちな方もいますが、安全に迅速に誘導を行っています。

花水木（ＧＨ）では、夜間帯など職員不在時の災害も想定される為、利用者だけでの避難方法や緊急時に連絡ができるよう電話をする練習を定期的に行っています。

のあの杜では、月１回定期的に避難訓練を実施し、万が一に備えています。職員間で役割を決め、出火場所の確認、逃げ遅れがいない等確認し災害発生時に迅速かつ的確な対応ができるよう徹底した訓練を実施しています。

あすなろでは、毎月行われている避難訓練。火災や天災はもちろんの事「不審者」からの避難についても訓練を行っています。皆さん真剣な表情で取り組んでいます。「もしも･･」の備えは大切です！

ひまわりでは、毎月避難訓練を行っています。また消火訓練も行いました。避難グッズとして救急セットを常備しています。

やまとでは、災害時の避難方法について、内部研修を行いました。こちらは、担架での移動体験の様子です。説明を聞いたら全員でチャレンジ！足並み揃えてフロアを1周!!担架に初めて触れる職員も多かったので、良い経験になりました。

あすひは毎月１回、地震と火災想定の訓練を交互に放課後等デイと生活介護合同で行っています。住宅地のため、近隣へは事前に回覧で非常ベルが鳴る日時のお知らせをしています。

本部ルーム

『語り継がれてきた教え』

《 すぎのこ会理事長　岩崎　俊雄 》

本会の事務所は、関東の高野山とも称される岩船山高勝寺の裏参道の入口にあります。既にお話したとおり、事務所の北側には、裏参道とそれに沿って岩船山から流れ出る山水の堀がある、自然が豊かなところです。

岩船山には、本会の慰霊碑を建立させていただいていますが、近年、利用者は勿論のこと保護者の皆様の高齢化が進み、慰霊碑への参拝ができない方のことも考え、ご住職の助言を得て、事務所に観音菩薩像を安置いたしました。『苦しい時の神仏頼み』と言われそうですが、私たちの幸せを仏に祈るとともに、仏となった皆様そして仏像が現世にいる私たちの幸せを願ってくれている、ということを信じて毎朝祈りをささげています。

ところで、「岩崎さんは、ここのところ『やまと』『みずほの家』等と神がかり的な事業所名にしているが、何か心に秘めたものがあるのか」と、何人かのお役人等から聞かれました。問われて初めて気が付いたのですが、事業所のある地名を名称としただけで、他意は全くありません。そんなこともあって、観音菩薩像そして初代理事長の肖像をお護りするための『宝剣』が欲しい、と考えておりました。

私事になりますが、日頃の運動不足を解消し、精神的な疲れを残さないための方策のひとつとして、時々マッサージを受けています。施術師は、栃木市の視覚障害者の会長も務められた識者ですが、『宝剣』のことを話題にしたことがありました。その折に、施術師から「実は、我が家には代々受け継いできた日本刀が2振りあるが、そういうことであれば1振り差し上げましょうか」という話になりました。常務の義父がその道に詳しいことから、アドバイスを受け、所定の手続き、専門家による研ぎ出し等を経て、『日本刀』を手に入れることができました。床の間に、本会の初代理事長の肖像、観音菩薩像そしてお護りする日本刀（ただし、本物は法令に従い別に保管し、鞘だけで中身は竹光です）を安置することができました。

慰霊碑、観音菩薩像さらに祈り等と言うと信心深いと思われる方もあろうかと思いますが、私自身が熱心な仏教徒ではありませんし、そうかと言って、宗教を否定するとか、排斥するものでもありません。ただ、多くの年月を経ても、語り継がれてきた宗教の教えには、心を動かされるものがあります。『忘己利他』『慈悲の心』そして『一隅を照らす』等には、言葉で言い表すことができないほどの意味があるのではないか、福祉の根源、福祉の真髄を象徴する言葉ではないか、その心を語り継いでいきたいと思っています。

守る会ルーム

けやきの家作業班では、土曜開設･各行事や日中の余暇活動など職員の方々が計画をたて色々な所に連れて行って下さいます。そんな時、息子はとても楽しそうに出掛けて行き、その時の様子を職員の方が写真に撮り一言添えプリントして後日保護者に渡してくれます。

これを見るとひと目で、どこに行って何をしてきたかがよくわかります。息子に行先の事を色々聞いてもわからないので、こうしていただけると大変ありがたいです。いつも私達のために向き合って下さる職員の皆様には本当に感謝しております。　須藤　ハツ子

作品紹介

作品大募集!!

～ひのきの杜　通所部活動（陽だまり）の作品～

利用者さん、通所部のお母さん方と一緒に、毎月第1、3、4木曜日に製作し、出来上がった物は販売しています。アイロンビーズで作ったコースターは色映えも良く、食卓に並べば映えること間違いなしです！！
ぜひ、ご購入ください。

職員ルーム

研修会報告

★7月26日・8月9日・30日・9月13日・27日
　人材育成研修4～8回目
★7月26日　防災研修1回目
★8月21日　防災研修2回目
★8月30日　主任基礎研修
★9月19日　防犯講習会
★10月2日　防災研修3回目
★10月12日 国際福祉機器展見学ツアー
★10月29日 採用2～3年目職員研修

防犯講習

BCM研修会

研修会予定

☆10月26日 新採用職員チェックリスト研修
☆11月8日　介護人材キャリアパス支援事業研修
　「アンガーマネジメントと職員のメンタルヘルス」

職員リレー

30年ぶりに利用を再開された利用者さんに　若い時は髪がいっぱいあったのにどうして少なくなっちゃったの？」と会う度に言われ、その都度、落込み　笑を取ったな」と自覚。

35年前、すぎのこ会に採用いただき栃木に転居。沢山の方との出会いと十分な技量もない私を支えてくださった皆様が、私の財産。思う時は、東京より広い空を見上げる。利用者さんと職員の笑顔を見るために、近くなったら思切りまでどんなことでもチャレンジしたい。

法人本部事務局長
もくせいの里施設長
諸岡　泰

全国研究大会で発表しました。

8月に、大阪で開催された全国身体障害者施設協議会研究大会にて『外出支援の機会均等と意思決定支援』をテーマに事例発表しました。

ひのきの杜では、入所されている方の強いニーズである「外出」を支援できるよう、体制を整え実践しています。

発表を通して、取り組み内容を多くの方に知って頂く機会になりました。
これからも、利用者さんの生きがいや楽しみを見出していきたいです。

ひのきの杜　秋澤　慎也
　　金子　香奈

事業報告

地域共生社会の実現のための 心のバリアフリー推進イベント

平成30年10月 6日(土)、栃木市岩舟文化会館(コスモスホール)にて、障がいがある人もない人も、ともに生きる社会の実現を目指し、差別や偏見をなくし、生きていてよかったと思えるような社会、共に生きる社会を創るための一助として、「心のバリアフリー」推進イベントを開催いたしました。

地域の皆様のご協力もあり、ご来場された皆様がバリアフリーについて考え、温かな心にあふれ、有意義な一日となりました。

すぎのこ会は、今後も様々な機会を通じて、「心のバリアフリー」推進活動に取り組んでまいります。

赤い羽根共同募金助成車両

けやきの家では、平成29年度共同募金配分決定を受け、車両整備をいたしました。

善意を寄せていただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。

また、栃木県共同募金会様、大変お世話になりました。安全運転に心掛け、利用者の皆さんの笑顔が見られるよう、送迎や日中活動に活用させていただきます。

ボランティアルーム

～ご協力ありがとうございました～

【寄　附(順不同)】

・薄井啓造 様　・Abakat(アバカット) 様　・古河あのころ会 様　・大平町匿名希望 様
・シルバー大学校南校学生自治会 様　・浅野クリーニング店 様　・小島敏夫・嘉子 様
・寺内　猛 様　・深津光江 様　・小島芳子 様　・(株)横山工業製作所 様　・(株)五十畑組 様
・安藤設備工業(株) 様　・(有)高橋電設 様　・(株)福田土木 様

【ボランティア(順不同)】

・岩本　久子 様　・上原　知恵子 様　・太田　啓子 様　・片山　隆 様　・佐藤　次雄 様
・木野内　昭・光子 様　・柴田　良子 様　・杉山　幾代 様　・手塚　美弥子 様　・星野　晴子 様　・矢野　昌子　様
・山田　久代 様　・渡辺　和子 様　・石塚　雅子 様　・小島　フミエ 様　・大橋　瑛美 様　・野口　浩一 様
・ころぽっくる 様　・すみれ会 様　・はつらつ東大 様　・箱西お囃子保存会 様　・ヘアーサロン セゾン 様
・ますます元気サポーター(にっこりチーム様　ひまわりチーム様　OKK5チーム様)　・TERAコーポレーション 様
・栃木太鼓　和蔵会 様　・宿場太郎一座 様　・栃木農業高校生徒 様　・オリーブはまゆう 様　・栃木腹話術研究会　様
・シルバー大学校同窓会栃木市大平支部　様

(シルバー大学校同窓会栃木市大平支部様におかれましては、15年以上のボランティア活動が認められ、栃木県社会福祉協議会会長表彰を受章されました。おめでとうございます。)

笑顔の写真大募集してます。広報より

お知らせ

平成29年度の主な事業報告

Ⅰ　総括事項

1　評議員会（2回）・理事会（7回）の開催
2　法人組織・機能の充実
3　社会福祉充実計画の策定と第4次アクションプランの見直し
4　施設・事業所等の基盤整備
5　新設施設・事業所の開設等準備
6　ガバナンスの強化・コンプライアンス体制の構築
7　透明性の向上・財務規律の強化
8　地域で支える福祉システムの構築
9　地域における公益的な取組
10　人材の確保、育成と適切な人事、労務管理
11　施設及び事業の適正、公正な経営

※　4　施設・事業所等の基盤整備の概要

（1）栃木エリアトータルサポートシステムの構築
　① もくせいの里別館増築整備
（2）日光エリアトータルサポートシステムの構築
　① 放課後等デイサービス事業所のあの杜新築整備
　② 共同生活住居「第三わたすげ」新築整備
（3）防犯カメラ設置整備（共同生活住居9ホーム）
（4）スプリンクラー整備（キスゲ）
（5）トイレ改修整備（すぎのこ）
（6）送迎用自動車整備（9台）

Ⅱ　社会福祉事業

1　第一種社会福祉事業
（1）障害者支援施設「もくせいの里」
（2）障害者支援施設「ひのきの杜共生」
（3）障害者支援施設「ひのきの杜」
（4）特別養護老人ホーム「みすぎの郷」

2　第二種社会福祉事業
（1）多機能型事業所「すぎのこ」
（2）多機能型事業所「けやきの家」
（3）多機能型事業所「愛晃の杜」
（4）多機能型事業所「あすなろ」
（5）多機能型事業所「あすひ」
（6）多機能型事業所「ひまわり」
（7）複合型事業所「やまと」
（8）多機能型事業所「みずほの家」
（9）共同生活援助事業所「花水木」
（10）共同生活援助事業所「わたすげ」

Ⅲ　公益事業

1　日中一時支援事業
2　居宅介護支援事業

平成29年度財務諸表

Ⅰ　貸借対照表　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	908，678	流動負債	360，864
固定資産	4，420，063	固定負債	381，739
		純資産	4，586，138
資産合計	5，328，741	負債・純資産合計	5，328，741

Ⅱ　事業活動計算書・資金収支計算書　（単位：千円）

資金収支計算書		事業活動計算書	
科目	決算額	科目	決算額
事業活動収入計	2，078，642	サービス活動収益計	2，048，692
事業活動支出計	1，723，336	サービス活動費用計	1，847，004
事業活動資金収支差額	355，306	サービス活動増減差額	201，688
施設整備等収入計	125，728	サービス活動外収益計	43，899
施設整備等支出計	597，189	サービス活動外費用計	27，640
施設整備等資金収支差額	△471，461	サービス活動外増減差額	16，259
その他の活動収入計	455，054	特別収益計	59，414
その他の活動支出計	249，702	特別費用計	21，230
その他の活動資金収支差額	205，352	特別増減差額	38，184
当期資金収支差額	89，197	当期活動増減差額	256，131
前期末資金支払資金残高	564，263	前期繰越活動増減差額	1，802，684
		当期末繰越活動増減差額	2，058，815
		積立金取崩額	441，000
		積立金積立額	236，515
当期末支払資金残高	653，460	次期繰越活動増減差額	2，263，300

※　端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得ます